



あさきた

若い力で地域を盛り上げたい!!

今回は、高南地区を活動エリアに活動されている「若武者(高南地区青年会)」の三吉代表と事務局を担当されている佐々木さんにお話を伺いました!

若武者とは

- 会員数約40名。30～50代の男女で構成。
- 「青年のマンパワーで地域に元気と活力を!!」を合言葉に、地域の諸行事への参画やリユースぶろじえくとの実施を通して地域を盛り上げていくための様々な活動を展開。



Q1 団体を設立したきっかけは?



お焚き上げ

若い力で何とか地域を盛り上げていきたいとの思いから、約5年前に地元の仲間で団体を立ち上げました。

現在では、地域の夏祭りやお焚き上げ、リユースぶろじえくなど、若い力が集い、明るく楽しく元氣よく活動しています。

Q3 今後の活動と想いを聞かせてください。

「リユースぶろじえく」を軸に活動を展開していきたいと考えています。まだまだ広報不足で活動が定着していませんが、公民館祭り等の様々な活動場面でブースを設けることで、子育て世代の一助になる活動として定着していきたいと考えています。

また、これまでと同様に、地域の様々な行事に若武者として参画し、地域の方々と一緒に地域を盛り上げていきたいと思っています!

*リユースぶろじえくとは…

各ご家庭から使えるけど使わなくなった物を持ち寄ってもらい、必要とするご家庭に無料で持ち帰ってもらうというリサイクル活動

Q2 活動の内容を教えてください。

お焚き上げ

公民館に持ち寄ってもらった松飾りやしめ縄等を若武者で集め、地域の田んぼをお借りして実施しています。

芸備線の活用を兼ねた平和への集い

白木地区の親子等(令和5年度は116名)が芸備線を活用して平和公園を訪れ、灯籠の作成や慰霊碑への参拝、千羽鶴の奉納等を行う集いを、青少年育成協議会と共催で実施しています。



千羽鶴奉納の様子

その他

公民館祭りや献血会等への協力、Nomadとコラボした夏祭りを実施する等、地域を盛り上げるために様々な活動を展開しています。



Nomadとコラボした夏祭り

令和5年度 第40回 安佐北区社会福祉大会

永年にわたり福祉のまちづくりの推進に尽力された個人・団体に感謝の意を表するとともに、地域福祉のより一層の発展に資することを目的として開催します。近年は、感染症の影響により本大会をやむを得ず中止したため、4年ぶりの開催となります。参加無料ですので、ぜひご来場ください。障害者施設や作業所による自主製品の販売もあります！

日時

令和5年

11月28日

(火)

13:30~15:30

会場

安佐北区総合福祉センター6階 大会議室(安佐北区可部三丁目19番22号)

内容

式典:表彰状の贈呈

講演: テーマ「若者の地域参加と、それに応える地域づくりとは」

講師 地域づくりコーディネーター 秦野 英子(はたの えいこ)さん

施設・作業所自主製品販売コーナー 13:00~15:30

定員

120名

講師
プロフィール

地域づくりコーディネーター

はたの えいこ

秦野 英子さん

環境カウンセラー(環境省登録)/防災士/デザイナー
一般社団法人ふるさと楽舎 代表理事
若者活動サポートセンターあおぞら 代表

一般企業、デザイン事務所、コンサルタント会社を経て、フリーランスの地域づくりコーディネーターとして、1995年に独立。「想いをカタチに」をコンセプトに、まちづくりや地域活性化事業を展開する。

2014年8月、平成26年8月豪雨災害にて、災害復旧復興活動に参加。中山間地域の地域課題と、長期的な展望の下での災害復興支援の必要性を痛感し、これを機に、事業の軸を中山間地域の暮らしを守るコンサルタント事業にシフトする。

2015年4月、地域住民有志で、若者の自主活動を支え地域とつなぐ「若者活動サポートセンターあおぞら」を設立、代表を務める。

2017年12月には、中山間地域の様々な地域課題に「楽しく」取り組み、ふるさとに「喜び」を創り出す伴走型コンサルタント「一般社団法人ふるさと楽舎」を設立、代表理事となる。



【協力】 広島市安佐北区役所／広島市安佐北区民生委員児童委員協議会
安佐北区内障害者施設・作業所

【問合せ先】 広島市安佐北区社会福祉協議会

〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目19番22号 安佐北区総合福祉センター4階

TEL: 082-814-0811

FAX: 082-814-1895

もう34年。ずっと変わらぬモットーは、愛情たっぷり笑顔になる弁当作り。

うしずの会



小河内地区で活動している『うしずの会』は、年に5回地域に住む75歳以上の一人暮らしの方へ配食する弁当を作っています。

完成した弁当は、民生委員が見守りも兼ねて届けます。グループのメンバーは「楽しみにしてくださる方がいらっしゃるから活動を続けてこれた。喜んでいただければ嬉しい。」とおっしゃっていました。



やさしさ発見プログラム事業



狩留家地区社会福祉協議会(以下「狩留家地区社協」という)の皆さんが、10月3日にやさしさ発見プログラム事業を活用し車いす利用者のお話や車いす体験をし、身体障害者への理解を深めました。

今回講師をしていただいた特定非営利活動法人みんなでスクラム生活支援センターの安留きみ子さんが、車いす利用者の生活や普段困っていること、車いすの操作方法などを分かりやすく教えてくださいました。車いす利用者2名からも話を聞くことができ、利用者の気持ちを知るいい機会にもなりました。

体験後、狩留家地区社協の皆さんから、11月5日開催の狩小川子どもフェスタにて車いす体験コーナーを実施する際に、地域の子もたちにも車いすの正しい使い方や進んで声を掛けるなど、思いやりの心と大切さを伝えたいとの声があがりました。

地域の皆さんの思いが、次の世代にも繋がり、福祉の輪がより広がっていくことを祈ります。

やさしさ発見プログラム事業とは…

広島市社会福祉協議会が行っている事業で、福祉活動体験プログラムを「体験!発見!!ほっとけん!!!」という合言葉をもとに、一人ひとりの「生きる力」や「福祉の心」を育む生涯学習として、市民に対する福祉教育を推進するために行っているものです。詳しくは広島市社会福祉協議会ホームページ内(<https://shakyo-hiroshima.jp/>)の福祉教育実践事例紹介パンフレットをご確認ください。



詳細はHPにて!

「もっと福祉のこころを育みたい」「福祉活動体験を通じて、これからの暮らしにも活かしたい」など、ご興味のある方は、事前相談を受け付けています。お気軽に区社協までお問い合わせください!

福祉サービス利用援助事業 生活支援員登録20年 感謝状贈呈式 初実施!

このたび、生活支援員登録20年を迎えた方(8区併せて7名)に感謝状が贈呈され、安佐北区では、登録23年目の佐々木 和子さんに贈呈されました! 佐々木さんにこれまでの活動についてのお気持ちなどを聞いてみました!



Q 受贈されたお気持ちは
どうでしたか?

A 活動を始めて、20年も経っていたのだなという驚きの気持ちが大きかったです。



Q これまでの活動で
印象に残っていることは
ありますか?

A 利用者宅へ訪問していた際に、一度だけ怪しげな訪問修理業者が来たことがありました。必要な修理ではなかったため、利用者の意思のもと一緒に断りをしたことです。

Q 活動している際に
困ったなあ…と思うことは
ありましたか?

A 全くないです! 活動自体もしんどくなく、楽しくさせてもらっています。

いつも元気に活動されている佐々木さんの姿を見て、私たちも元気をいただいています! これからも長く活動していただけるととてもうれしいです!

*福祉サービス利用援助事業とは…

認知症、知的障害者、精神障害者等判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等福祉サービスの適切な利用のための援助を行います。

*生活支援員とは…

支援計画に基づいて、地域住民の方に定期的な訪問等による支援を担っていただいています。



赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ

今年も10月1日から12月31日にかけて、共同募金運動を実施しています。

皆さまから寄せいただいた赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動の他に、災害時の被災者支援活動にも活用されています。

皆さまのご理解と一層のご協力をお願いいたします。

〈一般寄付〉

高陽地域介護者の会

ケアトークこうよう

代表 生熊啓子様

安佐北区社協に、皆さまより多額のご寄付をいただきました。
皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
(令和5年7月1日
〜令和5年10月31日)

愛の灯



弁護士無料法律相談 開催のお知らせ

場 所	安佐北区総合福祉センター (安佐北区可部3丁目19-22)
日 時	令和5年12月20日(水) 13:00~16:00
内 容	多重債務、破産、離婚、相続などについて弁護士に無料で相談ができます。
相談時間	一人30分(定員6名)
申込方法	事前予約制です。電話またはFAXでお申し込みください。 なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。 (原則、安佐北区内に居住する方を優先)



安佐北区社会福祉協議会
申 込 先 TEL 082-814-0811
FAX 082-814-1895

*感染症の感染拡大・自然災害等により中止または延期する場合があります。ご了承ください。